

令和5年5月10日

## 矢玉遺跡木簡に記された「しろわせ」を食農学類の農場実習で田植え ～遺跡出土木簡と江戸期文献に登場する古代イネ品種の復刻～

食農学類では、1年生がイネの手植えをする授業（栽培実習）を実施しております。今回で5回目となる本実習ですが、今年度、新たな取り組みとして食農学類で復刻した古代イネ品種を栽培します。

福島在来の古代品種と思われる「しろわせ（白和世／白早稲／白早生）」の種籾の準備ができましたので、今年度の食農学類農場基礎実習においてこの古代品種の稲の栽培をすることにしました。

下記のように、附属農場水田において食農学類1年生全員の手植えによる田植えを下記により行います。取材方よろしくお願い申し上げます。

### 記

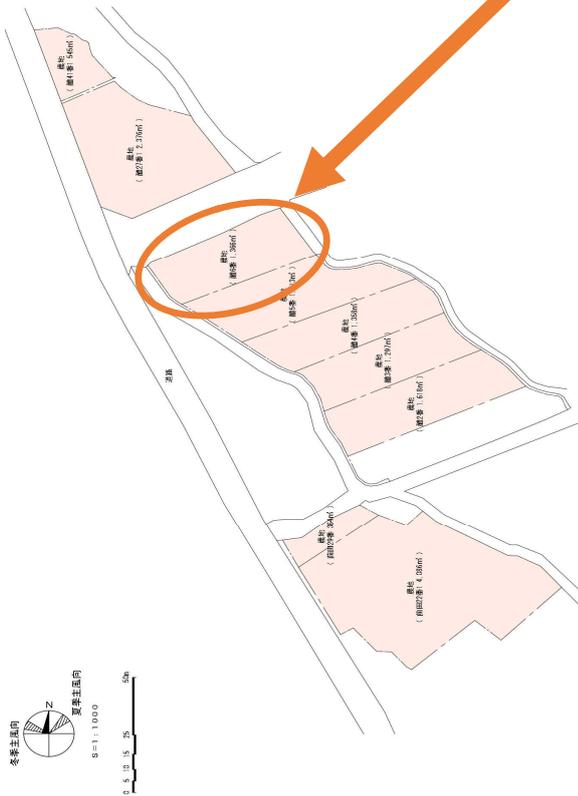
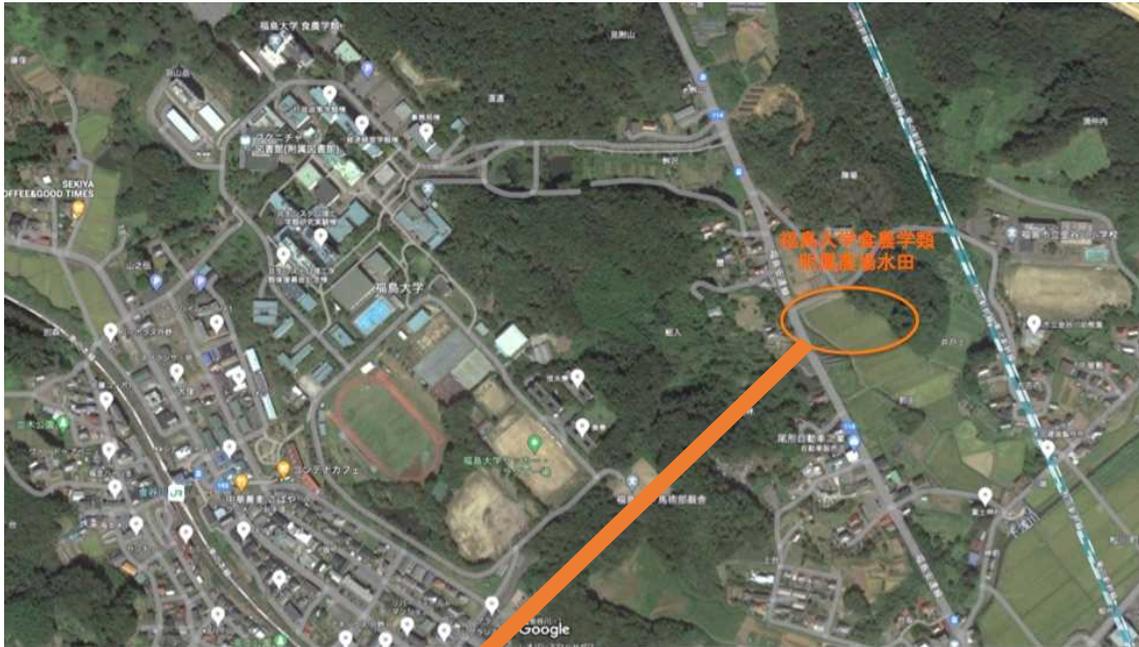
1. 日 時：令和 5年 5月18日（木）13：00～
2. 場 所：福島大学附属農場水田（福島市金谷川）：大学正門南の道路東側  
福島大学附属農場水田の場所は添付の地図および  
以下の URL をご覧ください。

<https://www.agri.fukushima-u.ac.jp/facility/>

### 3. 概 要：

この授業から、育種・品種改良の長い歴史を経てヒトの食糧として優れた形質を持つ近代イネの品種が作られてきたことや、育種によって優れた形質を獲得してきたと同時に、原種・野生種が持つ逞しさなどの失われた重要形質もあることを学修します。

また、発酵醸造研究所では、酒米・日本酒開発研究プロジェクトの一環として、個性的で地方色豊かな味わいの日本酒・地酒を醸造することを目指しています。NARO 遺伝資源ジーンバンク等から古代稲品種の名称が記された種子の譲渡を受け、それらを復刻するために種籾を増やしています。その中で、福島在来の古代品種と思われる「しろわせ（白和世／白早稲／白早生）」の種籾の準備ができましたので、今年度の食農学類農場基礎実習においてこの古代品種の稲の栽培をすることにしました。



(お問い合わせ先)

食農学類教授・附属発酵醸造研究所長 松田 幹

電話：024-503-4986

メール：[tmatsuda@agri.fukushima-u.ac.jp](mailto:tmatsuda@agri.fukushima-u.ac.jp)

食農学類教授・附属農場長 深山 陽子

電話：024-504-2830

メール：[y\\_miyama@agri.fukushima-u.ac.jp](mailto:y_miyama@agri.fukushima-u.ac.jp)

## 矢玉遺跡木簡に記された「しろわせ」を食農学類農場実習で田植え ：遺跡出土木簡と江戸期文献に登場する古代イネ品種の復刻

- ・ 福島大学食農学類における実践的・学際的な教育
- ・ 附属農場での実習：「農場基礎実習 I・II」
  - \* 1年生全員が履修、食農学類全教員が担当
- ・ 矢玉遺跡（会津若松市）から出土した木簡：種籾の種子札
- ・ 木簡と文献に記載された古代イネ品種の復刻  
「白早生」「白和世」「白わせ」「しらわせ」
  - \* 附属発酵醸造研究所（松岡信特任教授、北野英己客員教授）  
未来農業株式会社（丹野友幸社長、食農学類4年生）

### ～食農学類における教育活動～

実践性、学際性、国際性、貢献性 の4つを理念  
地域と密接に連携し、かつ国際的視野から新しい農学を目指す

フードシステムの流れにそった、食品科学、農業生産、生産環境、  
農業経営の4つのコースを設けている。

### 食農学類の農場基礎実習の特徴

- 1年生全員が受講する必須科目（全国的にも珍しい）
- 地域農家、農機具メーカーの協力
- 圃場みならず、フードシステムの流れにそって、実験室  
や講義室での実習も実施



2年次からの農学実践演習（福島県内の現場へ実際に行き行う演習）の基礎を身に付ける

## 農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ

### 令和5年度農場基礎実習Ⅰ 予定

	あかつき班	きびたき班	けやき班	しのぶ班
1回	ガイダンス、農作業の基礎			
2回	作業日誌記載方法・農作業安全・農具の使い方			
3回	水路清掃・水田圃場準備		野菜定植準備（たい肥撒き等）	
4回	野菜定植（ミニトマト・病害虫野菜）・有害獣対策		水田圃場準備（代かき等）	
5回	田 植 え			
6回	サツマイモ定植		野菜定植（キュウリ、サトイモ）、病害虫対策	
7回	畜産の見学	果樹研見学（飯坂）	水利、空中撮影、センシング	
8回	水利、空中撮影、センシング		果樹研見学（飯坂）	畜産見学
9回	果樹研見学（飯坂）	畜産見学	水田調査・野菜管理	
10回	水田調査・野菜管理		畜産見学	果樹研見学（飯坂）
11回	樹木観察		病害および害虫観察	
12回	病害および害虫観察		樹木観察	
13回	野菜収穫・食味調査・グループワーク		水田調査・管理	
14回	水田調査・管理		野菜収穫・食味調査・g負グループワーク	
15回	まとめ			

## 農場基礎実習Ⅰ・Ⅱ

### 体験



観察力

コミュニケーション能力







